

Do it!



⚙️ 🎮 Satoru Nakamura

目的

このゲームの目的は、めくったカードに書かれているタスクを即座に認識・理解したうえで実行し、いち早く成功させることです。誰よりも速く成功できたらカードを獲得できます。ゲーム終了時に獲得したカード枚数が最も多い人が勝利します。

内容物

カード(92×67mm)	:30枚
ミープル	:5個
6面体	:15個
10面体	:15個

ゲームの準備

カードを全てシャッフルし、裏向きの山札を作成します。**Do it!**のロゴがある方が裏面です。各プレイヤーは、以下のアイテムを受け取って手元に置きます。
[ミープル 1個、6面体3個、10面体3個]

ゲームの流れ

カード山札に最も近いプレイヤーが、最初のカードをめくります。山札の一番上のカード1枚を、すべてのプレイヤーから見やすい位置に表面を上にして置いてください。

カードをめくったプレイヤーを含む、すべてのプレイヤーは、そのカードに書かれたタスクをただちに実行してください。

タスクを達成したら、表向きのカードにタッチします。最も速くタッチした人がそのカードを獲得します。

これを繰り返し、最後のカードが獲得されたらゲームは終了します。

(1)

タスクの例(1) アイテムを操作するタイプ

アイテムを操作するタイプのタスクは、カードの背景色が青色になっています。



この「つめ!」の例では、6面体の上にミープルを置いて、その上に6面体を置いたらタスク達成です。達成できたら表向きのカードにタッチしてください。

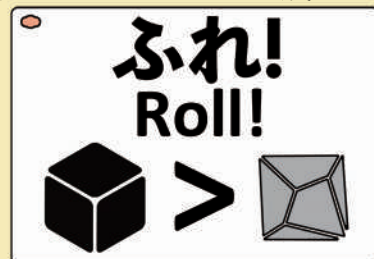
カードにタッチした後、他のプレイヤーから正しく(カードに書かれたとおりに)達成できているかの監査を受けてください。問題なければそのカードを獲得できます。

何か間違いが指摘された場合、即座にゲームは再開されます。他のプレイヤーはただちにタスクを再開してください。誤ってタッチしたプレイヤーは、このタスクに再挑戦はできず、カードの獲得はできません。

達成してカードにタッチを試みる際に、誤って積み上げたものを崩した場合、カードにタッチする前であれば再挑戦が可能です。

タスクの例(2) ダイス等を振るタイプ

ダイス等を振るタイプのタスクは、カードの背景色が白色になっています。



この「ふれ!」の例では、ダイスを振って、ある6面体の出目が、ある10面体の出目より大きい結果になっていれば達成です。

失敗しても、何度でも振りなおせます。タスクに書かれた条件に適合するまで、何度でも振りなしてください。

このとき、ダイスを振る個数は自由です。6面体と10面体を1個ずつ振っても構いませんし、6個すべてを振ってタスク条件に適合する2個をピックアップしても構いません。

振りなおし方も自由です。有利なダイスを残して、他のダイスのみを振りなおしても構いません。ただし、振りなおす際に残しておいたダイスに他のダイスが当たったりしてダイス目が変わったとしても手で操作して元に戻すことはできません。変わってしまったダイスも振りなおして再挑戦してください。

達成出来たら表向きのカードにタッチしてください。他プレイヤーからの監査や、間違いが指摘されたときに再開するのは先ほどの例と同様です。

次のタスクの開始

カードを獲得した人が、山札の一番上のカード1枚をめくってテーブル中央に表面を上にして置き、次のタスクを開始します。

(2)

(3)

ゲームの終了と勝者の決定

最後のカードが獲得されたらゲームは終了します。
獲得カード枚数が最も多いプレイヤーが勝利します。
枚数が同じ場合は、現在ナイキのシューズを履いているプレイヤー（いなければ最近履いたプレイヤー）が勝利します。

禁止事項

- このゲームでは、以下の行為を禁止事項とします。
- わざとアイテムを転がして他プレイヤーを妨害する行為（故意でない場合は容認します）
 - わざとテーブルを振動させて他プレイヤーを妨害する行為（故意でない場合は容認します）
 - 他プレイヤーへの身体的接触による妨害行為
カードがめくられる前に、ダイスの出目を操作してそろえておく行為
 - 白色カードで、一度もダイスを振らずに達成する行為（偶然前のタスクの結果が次のタスク達成条件を満たしていても、それを利用できない）

FAQ

- Q. 青色のカードで、ダイス目をそろえるタスクは振らなくてもいい？
A. その通りです。タスクに適合するように、手で目的のダイス目になるよう操作してください。振っても構いませんが、操作する方が速いはずですよ。
- Q. 白色のカードで、ダイス等を振らずに達成は出来る？
A. できません。白色のカードが出たら、対象のダイス等を少なくとも1回は振ってください。
- Q. 青色のカードで、タスク内容が偶然すでに出ているダイス目と合致していた。この場合はそのまま達成として、カードを獲得出来る？
A. できます

(4)

FAQ(続き)

- Q. 最初にカードにタッチしたプレイヤーがタスク失敗していたが、僅差でタッチしたプレイヤーは成功していた。この場合は2番目にタッチしたプレイヤーがカードを獲得できる？
A. できます
- Q. カードにタッチしたタイミングがほぼ同時で判別できなかった
A. その場合はキャリーオーバーとなります。次のタスクの成功者が、今回の(判別できなかった)タスクカードも獲得できます。
次のカードは、前ラウンドにめくった人と同じ人がめくってください。
- Q. 「つめ!」のタスクで、一番上のミープルは立たせる必要がある？
A. はい、立たせる必要があります。中間や最下層にあるタイプのタスクでは、ミープルは寝かせてください
- Q. 禁止事項に書いていないということは…ダイストレイを使ってもいい？
A. 君だけのダイストレイで、ライバルに差をつけよう！
(出し入れが面倒で、かえって遅くなると思います)
- Q. カード左上にある  の意味は？
A. 先ほど例示として使用したカードです。初めて遊ぶプレイヤーがいる場合は、この2枚のカードを使ってルール説明をしてあげてください
- Q. 子供と遊ぶためにルールを変更してもよい？
A. はい。難しいカードを除外したり、大人は片手でプレイするなどの制限を設けたり、工夫をしてみてください
- Q. 「こままわし」とか「ピラミッド」とか出来ないんだが？
A. がんばれ

© March Hare Games / 2026
Game design, Artwork: Satoru Nakamura
marchharegames@gmail.com



March Hare Games
マーチヘアゲームス

(5)